

1 研究主題

情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践

2 夏季実技研修内容

- (1) 日 時 平成30年8月16日(木) 10:00～12:00
- (2) 会 場 宇和島市立鶴島小学校パソコン教室
- (3) 参加対象 宇和島市小・中学校情報教育主任並びに希望者
- (4) 参加者数 32名
- (5) 内 容

研修	ICTを活用した授業改善 ～タブレット端末の活用と授業改善～ 講師：愛媛県総合教育センター 情報教育室 指導主事 平井 敬浩 指導主事 渡部 浩二
----	---

① 研修1 「ICTを活用した授業改善－タブレット端末の活用－」

「教科指導におけるデジタル機器の活用について」と題して講義をしていただいた。宇和島市においては、小学校にはタブレット端末が、中学校にはiPadが導入されている。タブレット端末やiPad等を活用することで、「分かりやすい授業の実現」や「主体的・対話的で深い学びの実現」が可能であり、教員が進んで活用する必要性を教授いただいた。また、中学校で導入されたiPadの利点や活用法について、様々な機能やアプリがあり、タブレット端末以上に活用法があることも教えていただいた。



② 研修2 「iPadを用いた実習」

授業で活用するにあたってのiPadの利点を教えていただいた後、実際に機器を用いての実習を行った。愛媛県総合教育センターにあるiPadを20台ほどお借りして、操作実習をした。まずは、標準アプリを用いたものである。

「世界時計」は、簡単に時差が分かるアプリで、日本とその都市の時差が瞬時に分かり、社会科や外国語科等で活用することができる。「カメラ」は、図形を撮影し、取り込んだものに自分の考えを書き込むことができる。それを、「Apple TV」を使って全体で共有し、各自が書き込んだものをもとに話し合い活動を行うことができた。「Apple TV」とiPadは無線で簡単に接続できた。これには、参加者からも驚きの声が多数挙がった。また、標準アプリ以外に授業で活用できるものとして紹介いただいたものは、「はなまるフォーム」（撮影した動画を遅延再生できるアプリ）、「タイミングCAP」（撮影した2つの動画を比較し、その違いを確認できるアプリ）、ストップモーションスタジオ（身近なものを撮影し、コマ撮り動画を作成するアプリ）である。本市の小学校で導入されているタブレット端末ではできないことが、iPadではできることもあり、参加された小学校の先生方からは、まさにiPadは羨望の的であった。



3 今後の課題

新しい機器が次々に導入されている中で、それらを駆使して児童生徒にいかに関指導できるかが問われている。わたしたち情報教育主任から各校の先生方に伝達していくことはもちろんであるが、教員一人一人が実践をさらに深め、機器活用の研究や指導力向上のための研修を重ねていきたい。